

高崎市内遺跡埋蔵文化財 緊急発掘調査報告書13

1999

高崎市教育委員会

(H10)

序

社会の混迷、とりわけ経済の問題は私たちの心の奥深くまで影響を及ぼし始めています。現代は欲望は限りなく広がって、諸々欲求不満もそれに応じて強くなっていくようです。そのような状態におかれていても、人々のなかには生き甲斐を、また何かを求めていることも確かである。宇宙飛行士の向井千秋さんがスペースシャトル船内で録んだ和歌に対する反応は約15万通の下句の応募があり、大きな反響に驚かされたものでした。この事も一つの現れと思えます。長野の冬期オリンピックでの感動も忘れることはないでしょう。我々の日々行っているささやかな市内の試掘調査においても経験するところでもあります。しかしながら社会の不況の影響は我々にもその雰囲気を感じさせるものでした。埋蔵文化財の事業も社会の動向に影響されることもあります。根本的な思想は失ってはならないと考えるものであります。大事なことは努力をしなくては成らない、ということだと思います。

ここに報告します試掘調査結果報告書は高崎市の平成10年度事業の1年間分のものであります。

多くの貴重な資料を得ることが出来ました。試掘調査にあたり、ご協力してくださいました関係者、発掘作業、整理作業に従事してくださいました皆様へ感謝を申し上げます。

平成11年3月

高崎市教育委員会
教育長 砂田 威大

例言

1. 本報告書は平成10年度、市内試掘調査の結果報告書である。
2. 事務局体制：神戸聖路 村井田雅明
倉澤かおる
試掘・立合：神戸聖路が主に担当し、神戸聖路の助言を得た。
3. 報告書作成の整理は担当者と主に武井幸子、山口敦子が、遺物写真は中村賢が行った。
4. 記録、遺物等は教育委員会が保管している。

凡例

1. 調査内容の数字は一覧表No.1に対応する。
2. 図中の高さは調査地の任意の位置を0とした。
3. 文中のB、F、A、Cは平安、古墳、4世紀後半のテラを、Aは天明の浅間山噴火のテラを言う。
4. 位置図は高崎市発行1/2500地形図を原因とし、1/5000に縮尺した。

目次

序	
例言	
凡例	
平成10年度高崎市内試掘調査一覧表	1
平成10年度試掘調査位置図	3
調査内容	
2. 総費金堀	4
6. 上並根稲荷前	8
7. 下中居下之城境	9
21. 上小堀五反田、村前	10
23. 上佐野寺前	11
42. 中大瀬沖田	14
44. 剣崎鳴鶴	15
45. 南大瀬柳原	16
16. 元島名中子	17
18. 矢中村西30、下瀬大門	18
37. 剣崎大塚	18
35. 泉附五百山	19
54. 江木観音沖	20
H 9-61. 中尾	20

平成10年度 市内試掘調査一覧表

No.	所在地	開発内容	開発面積(m ²)	調査内容	備考
1	高岡町村前41-1他	大型店舗建築	8,372.1	古墳前期の壘形片出土。	
2	総費金堀1269-1、1280-8他	住宅改築工事、コンクリート基礎工事	801.8、455.82	内溝溝の一部壘形を確認。	4ページ
3	上小堀町東原1056他	宅地分譲	7,491.73	B混じり。黒色土なし。	
4	上中居町西1508-1	宅地分譲	1,665.0	B軽石層あり。水田可能性あり。	
5	藤高町1293-2	建築事務所移転	442.05	遺構なし。近世陶器片出土。	
6	上並根稲荷前283、259-3	貸店舗増築	1,596.0	B下水田、畦あり。	8ページ
7	下中居町下之城境123-2、123-5	貸店舗建築	1,322.0	B下畦出土。	9ページ
8	八幡原町延敷前968-1、2	建設新設家材運搬	1,744.0	古墳前期の土坑検出。	
9	岩井町121-1他	共同住宅建設	1,130.31	Bあり。黒褐色土あり。下層は洪水土層。	
10	江木町南上井1324-1、1323-6	共同住宅建設	1,236.62	弥生後期～古墳前期土器出土。	
11	井野町新橋、新橋、大木、足野野原等	建設新設家材運搬	7,491.73	B軽石層あり。B水田あり。	
12	上佐野町和野904-1他	貸店舗	5,226.0	1.50mまで埋土。なし。	
13	上小堀町東原1056	パチンコ店建設	7,491.73	遺構なし。洪水土層	
14	上並根町稲荷前283他	貸店舗増築	1,596.0	大、小堀、川砂等の埋土。	
15	下小堀町南294-17	水産分譲住宅	144.3	旧宅地内で埋土層。	
16	上佐野町市船沢904-1他	貸店舗	5,226.0	3mまで建築廃材等の埋土。	
17	剣崎町六万坊319-1他	住宅用地造成	2,861.71	A軽地埋土あり。再耕層上。	
18	矢中村47他	共同住宅造成	1,519.0	B水田あり。	18ページ
19	八幡原町延敷前968-1、2	建設新設家材運搬	1,744.0	保存される。	
20	緑町1-14-4	ビル新築工事	268.05	B純層なし。水成準換層上層。	
21	上小堀町五反田25-1、村前1230他	建設新設家材運搬	5,498.0	B水田、畦検出。	10ページ
22	昭和町299	建物建築		盛土。炭屑層。遺構なし。	
23	上佐野町寺前513-2	建設新設家材運搬	152.67	地輪共出土。	11ページ
24	栄町74	道路拡幅		A大古耕作跡。B下畦確認。	
25	岩井町屋敷北4-2 東町238-2他	分譲住宅地	1,674.0	遺物遺構なし。底下泥層。	
26	上佐野町諏訪前335-1他	共同住宅建設	2,084.56	B水田可能性あり。	
27	上佐野町513-2	私道造成	17.72	保存される。	
28	下之城内町(操車場跡地)	土地改良事業	6,440.0	Bあり、なし。混じり等。遺構なし。	
29	上佐野町寺前513-2	私道造成	17.72	保存される。	
30	下地町大門40-37他	道路築造工事	676.0	土器、地輪片出土。	18ページ
31	宮元町17	水道工事	3.33	遺構、遺物なし。	
32	下中居町地前230他	共同住宅建設	1,120.71	B水田可能性あり。	
33	中居町吹屋1133-1	ドライイン用地	1,522.0	縄文、土師、須恵器片出土。カマド跡あり。	
34	江木町北尾110他、李大B沖1111他	病院建築	3,532.35	浅間ABCなし。埋土なし。	
35	泉附町五百山1424-1	道路拡充工事	980.0	古墳～平安の遺構可能性。集石あり。	19ページ
36	中居町高瀬168、69	共同住宅建設	1,549.74	H9-61に同じ。	
37	剣崎町大塚南56	住宅地希望	455.97	瓦石確認。	18ページ
38	栄町46-1	事務所新築	361.0	粘質土あるいは水田確認できない。	
39	上佐野町諏訪前335-1他	共同住宅	2,084.55	H10-26に同じ。	
40	石原町岡田2987-3他	宅地分譲	1,658.0	遺構、遺物なし。	
41	上小堀町東原1012、1013	病院改築工事	1,668.0	B下畦あり。	
42	中大瀬沖田35他	学校校舎建築	10,946.0	B下畦あり。	14ページ
43	上佐野町天神前94-1他	共同住宅建設	1,646.0	B下、F A下水田あり。	
44	剣崎町鳴鶴272-275-1他	土地分譲	2,998.0	縄文土器片出土。削平地形。	15ページ
45	南大瀬町柳原27996他	配電用変電所新設	1505.83	B水田あり。鉄製品出土。	
46	元島名町中子1217-1他	配送センター建設	17,289.64	B水田あり。	19ページ
47	上小堀町村東850-1、3	小児科病院建設	1,423.0	埋土層。遺構なし。	

№	所在地	開発内容	開発面積(㎡)	調査内容	備考
48	若田町清水久保73-1	二階建一般住宅	330.0	土師、須恵器出土。遺構なし。	19ページ
49	栄町46-5	庁舎新築予定	4,350.0	掘削。	
50	稲町3丁目1-9他	本社社屋立て替え	3,379.58	遺構、遺物なし。	
51	倉賀野町寛神2285-1	共同住宅	1,300.0	B水田可能性あり。保存内。	
52	栄町町入王前1497	建物建築	2,142.0	A軽地埋溝。設計変更。	
53	高岡町岡久保5072-2	病院の病棟増築	1,600.0	B水田可能性。	
54	江木町観音沖616-1他	福祉会館新築	2,240.37	古墳後周土師片出土。	20ページ
55	高岡町村前25-1	宅地分譲	2,986.0	B下駄橋跡。	
56	八幡町若宮2078	露天駐車場	2,168.0	遺構なし。	
57	桑田町土山1424-1	道路拡充工事	980.0	H10-35に同じ。	
58	綿貫町1369	社会福祉法人設立	3,600.0	古墳～古代住居、溝跡あり。	
59	栄町46-1	事務所新築	561.0	B軽石層の状態悪い。	
60	倉賀野町道北2902-1	事務所建築	1,224.0	遺構なし。	
61	中野町炊屋1133-1	ドライブイン	1,522.0	H10-33に同じ。	
62	片岡町3-2076他	共同住宅建設	2,153.0	遺構なし。流れ込み土器。	
63	倉賀野町原東2817	集合住宅建設	1,395.0	B掘り掘拌土層。なし。	
64	江木町東沖1722-1	共同住宅建設	1,224.92	破壊部分をB下調査。	
65	中豊岡町423	倉庫等改修・テナント 店舗改修	316.22	遺構なし。周辺土器。	
66	下岡町天水155-1	自給菜・商業施設 倉庫改修	522.0	B、C水田の可能性。	
67	倉賀野町958-1	倉庫改修・店舗改修 倉庫改修	200.0	遺構なし。	
68	浜川町野沢1740-1他	外科病院建築	2,854.0	B覆土の溝。保存される。	
69	町屋町四ッ田767他	土地改良		墓地。保存される。	
70	上中原町島高野556-3	共同住宅	1,198.0	B大畦畔検出。	
71	稲町3-1-9他	社屋立て替え	3,379.5	一部B軽あり。湿地。	
72	飯塚町島前1563-4	住宅(一戸建)建築	152.66	確認できず。	

平成9年度 市内試掘調査一覧表

№	所在地	開発内容	開発面積(㎡)	調査内容	備考
54	上小坂町東原1006、1006	ガソリンスタンド	1,845.0	調査地北側にB水田可能性。	
55	上小坂町志々見233、西久保306外	道路改修工事		縄文～中世遺構あり。	
56	下中原町宅前232-1	共同住宅建設	452.96	遺構なし。	
57	高岡町塚田389	マンション新築	1,544.98	すでに破壊。	
58	龍宮塚古墳	上下水道工事		堀あり。	
59	下中原町宅前177-1、178-1、181	マンション新築	2,172.72	B純層あり。	
60	上中原町岡西1508-1	宅地分譲	1,665.0	Bあり。盛土する。	
61	中尾町高畑168、169	共同住宅新築	1,549.74	遺構可能性あり。	20ページ
62	寺尾町神出556	店舗建設	11,318.0	礫流じり。遺構なし。	
63	栄町町観音1213-2	診療所建設	350.0	B層あり。土地整備時に部分破壊。	
64	上中原町前屋敷703-1	ビル新築		B純層あり。F A洪水土層あり。	
65	矢中町村前841	医院増設		土器片あり。遺構なし。	
66	阿久津町上ノ谷810-2	警備施設建設	373.0	遺構なし。河川土層。	
67	飯塚町大雷代1361-1	教会新築	2,950.11	B軽あり。広範囲に破壊。	
68	上並根八反田189-1、2	複合住宅		H19-43に同じ。	
69	山名町清水口156-112か	工場土庫(庫裏)	3,787.0	対象外にB水田可能性。	
70	栄町76、1、2、3	営業所立替	917.33	B水田あり。	
71	中原町3丁目20-5	倉庫事務所新築	231.58	堀土と礫流土層。	
72	上中原町西屋敷274-4	戸建新築	299.22	基礎は埋土内。	
73	江木町東前沖40-1、41-1、75	店舗(スーパーマーケット)	5,051.23	すでに破壊。	
74	八幡町一町田491	共同住宅新築	1,846.0	B下堀あり。遺構に達せず。	
75	倉賀野町中里前穴	店舗拡張		すでに破壊。	

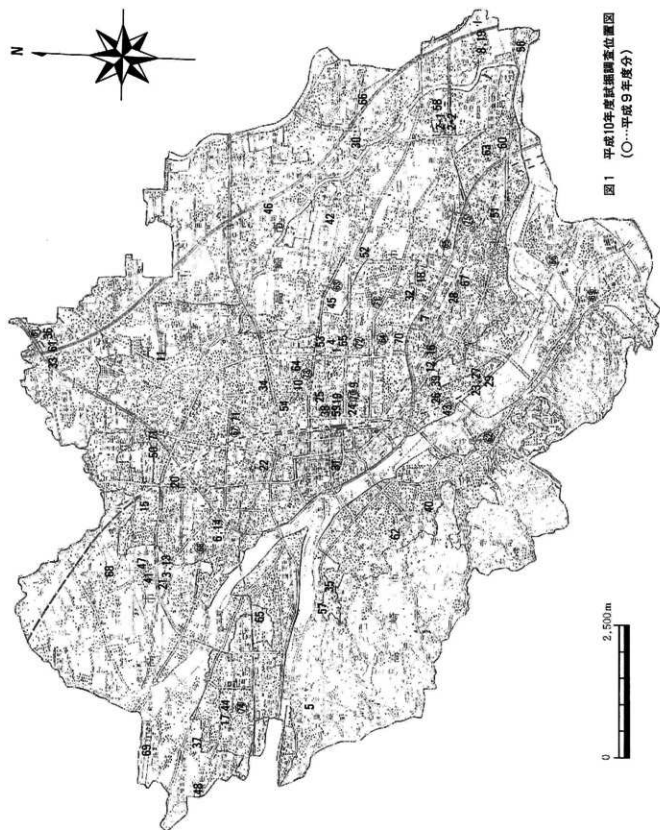


図1 平成9年度試掘調査位置図
(○…平成9年度分)

No.	所在地	開発内容	開発面積(㎡)	調査内容	備考
48	若田町清水久保73-1	二階建て一般住宅	330.0	土師、須恵器出土。遺構なし。	19ページ
49	栄町46-5	戸倉新築予定	4,350.0	掘削。	
50	緑町3丁目1-9他	本社社屋立て替え	3,379.58	遺構、遺物なし。	
51	倉賀野町寛神2285-1	共同住宅	1,300.0	B水田可能性あり。保存内。	
52	栄崎町天王前1497	建物建築	2,142.0	A軽装埋土。設計変更。	
53	高岡町岡久保5072-2	病院の病床増築	1,600.0	B水田可能性。	
54	江木町蔵首沖616-1他	商業公会堂建設	2,240.37	古墳後土器片出土。	20ページ
55	高岡町村前25-1	宅地分譲	2,986.0	B下駄検出。	
56	八幡原町芝宮2078	露天駐車場	2,168.0	遺構なし。	
57	桑野町五百山1424-1	道路拡張工事	980.0	H10-35に同じ。	
58	緑町1369	社会福祉法人設立	3,600.0	古墳～古代住居、溝跡あり。	
59	栄町46-1	事務所新築	561.0	B軽石層の状態悪い。	
60	倉賀野町道北2902-1	事務所建築	1,224.0	遺構なし。	
61	中野町吹屋1133-1	ドライイン	1,522.0	H10-33に同じ。	
62	片岡町3-2076他	共同住宅建設	2,153.0	遺構なし。流れ込み土器。	
63	倉賀野町原東2817	集合住宅建設	1,395.0	B並り攪拌土層。なし。	
64	江木町東沢1722-1	共同住宅建設	1,224.92	破壊部分をB下調査。	
65	中豊岡町423	警察官宿舎(コンクリート基礎部分)	316.22	遺構なし。周辺で土器。	
66	下滝町天水155-1	店舗・倉庫(コンクリート基礎部分)	522.0	B、C水田の可能性。	
67	倉賀野町958-1	部室(コンクリート基礎部分)	200.0	遺構なし。	
68	浜川町沖沢1740-1他	外科病院建築	2,854.0	B覆土の溝。保存される。	
69	町屋町西7田767他	土地改良		墓。保存される。	
70	上中居町島瀬原556-3	共同住宅	1,198.0	B大晩検出。	
71	緑町3-1-9他	社屋立て替え	3,379.5	一部B軽あり。湿地。	
72	飯塚町島前1563-4	住宅(一戸建)建築	152.66	確認できず。	

平成9年度 市内試掘調査一覧表

No.	所在地	開発内容	開発面積(㎡)	調査内容	備考
54	上小田町東原1006、1006	ガソリンスタンド	1,845.0	調査地北側にB水田可能性。	
55	小八木町志々目戸233、西久保306他	道路改築工事		縄文～中世遺構あり。	
56	下中居町地前232-1	共同住宅建設	452.96	遺構なし。	
57	高岡町堀田389	マンション新築	1,544.98	すでに破壊。	
58	龍吉塚古墳	上下水道工事		堀あり。	
59	下中居町地前177-1、178-1、181	マンション新築	2,172.72	B純層あり。	
60	上中居町岡西1508-1	宅地分譲	1,665.0	Bあり。盛土する。	
61	中尾町高橋168、169	共同住宅新築	1,549.74	遺構可能性あり。	20ページ
62	寺尾町坪出556	店舗建設	11,318.0	堀掘り、遺構なし。	
63	栄崎町御原1213-2	診療所建設	350.0	B層あり。土地整備時に部分破壊。	
64	上中居町前原敷703-1	ビル新築		B純層あり。F A洪水土層あり。	
65	矢中町村前841	病院増設		土器片あり。遺構なし。	
66	阿久津町ノノ谷810-2	特設臨時倉庫建設	373.0	遺構なし。河川土層。	
67	飯塚町大田代1361-1	教会新築	2,950.11	B軽あり。広範囲に破壊。	
68	上巻根八反田189-1、2	建売住宅		H9-43同じ。	
69	山名町清水156-112他	高層ビル(複合)	3,787.0	対象外にB水田可能性。	
70	栄町76、1、2、3	営業所立替	917.33	B水田あり。	
71	中居町3丁目20-5	倉庫兼事務所新築	231.58	埋土と泥流土層。	
72	上中居町西屋敷274-4	戸建新築	299.22	基礎は埋土内。	
73	江木町東前沖40-1、41-1、75	戸建(スロープ)	5,031.23	すでに破壊。	
74	八幡原町一田491	共同住宅新築	1,846.0	B下知あり。遺構に達せず。	
75	倉賀野町中早前穴	店舗拡張		すでに破壊。	

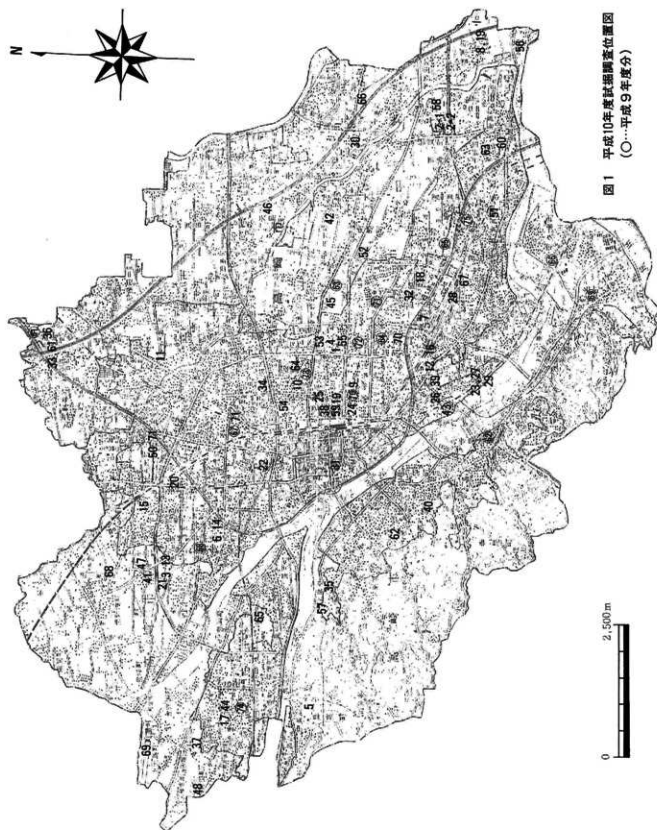


図1 平成9年度試掘調査位置図
(○……平成9年度分)

調査内容

2-1.2. 縄文金堀

- (1) 所在地 綿貫町宇金堀1259-1他
- (2) 調査期間 平成10年4月8日
- (3) 対象面積 801.0㎡
- (4) 開発内容 コンビニエンス・ストアー
- (5) 経過と結果

本調査地は不動山古墳と呼ばれる古墳のある場所である。高崎駅から東南方位にある“群馬の森”北の道路、東西に走る国道354線の北側に接した所にある。

約400m北に6世紀後半の国指定の観音山古墳がある。手前約200m北に菅賢寺古墳があり、約300m南に岩鼻二子山古墳（推定地）がある。不動山古墳、岩鼻二子山古墳は5世紀後半頃のものとされている。

本調査地の東150mに不動山東遺跡があり古墳時代の住居跡、土器の出土がある。その東隣の堀米前遺跡でも古墳時代の住居跡～平安時代の集落址を検出している。このような遺跡の連続した環境の場所にコンビニエンス・ストアーの建設の申請があった。申請書添付の図面では古墳の後方東側に建築資材置き場になっている。

従来、単に地面上の資材置き場だけのみでは試掘調査の対象にはならないが当該地の重要性を鑑みてトレンチ調査となった。トレンチは必要最小限の大きさである。当日は諸事情があつて掘削開始は大幅に遅れた。

時間的にも、また限られた作業員での仕事は無理があった。午後には曇り空になりトレンチ内は薄暗く、写真撮影はフラッシュ付カメラを利用した。トレンチは後門部に接するような一番近い位置から掘削開始した。およそ

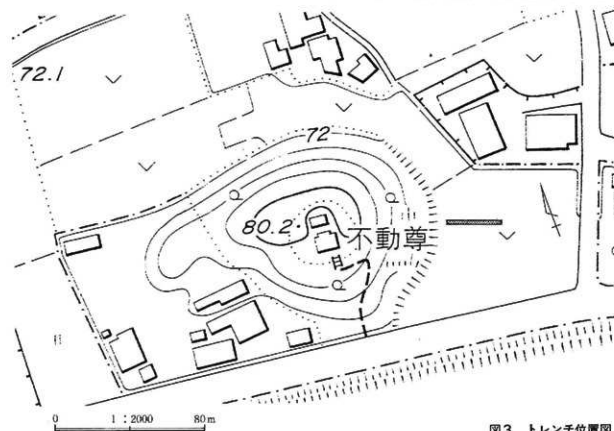


図3 トレンチ位置図

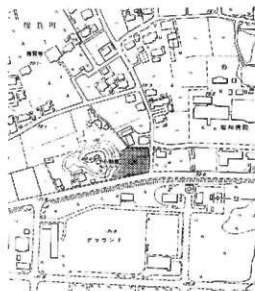


図2 位置図

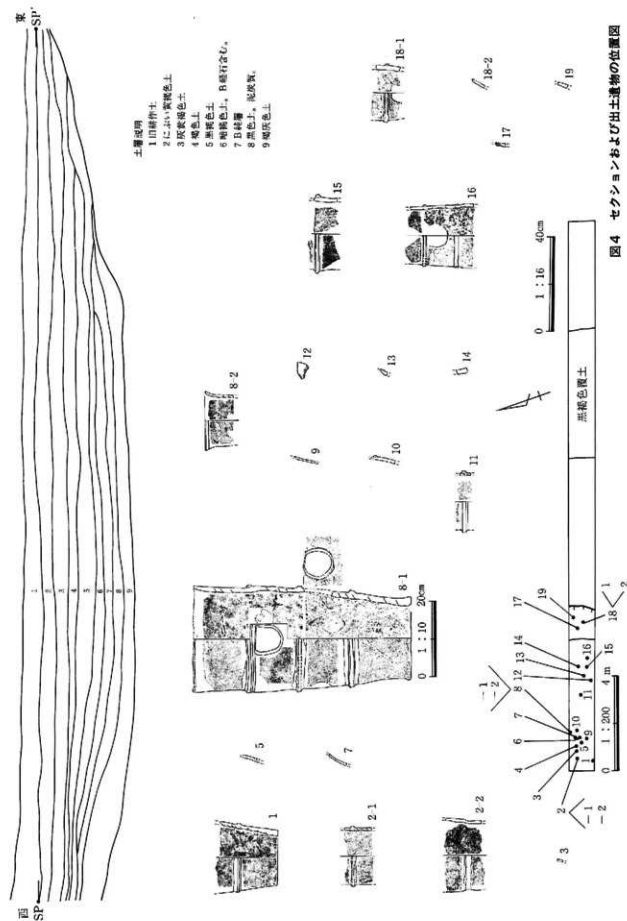


図4 セクションおよび出土遺物の位置図

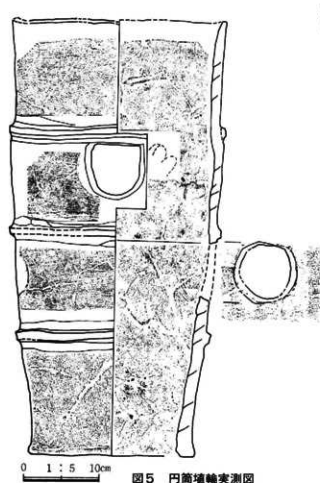


図5 円筒埴輪窯測図



写真1 出土円筒埴輪

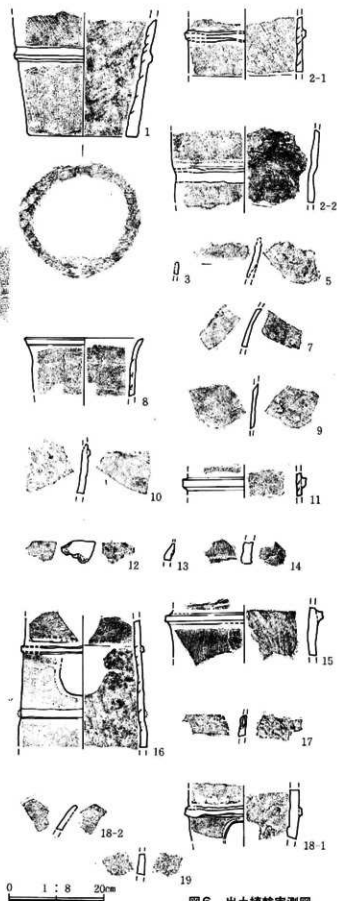


図6 出土埴輪窯測図



写真2 トレンチ全景 (不動山古墳 東側)



写真3 トレンチ遺物出土状態 東から

東西に長い方形である。＜結果＞円墳東部分側のおよその堀の形状と堀の幅が分かった。円墳東部の際あたりから掘削始めたが堀底は東に1.2mまで斜めになっていく、そこからやや平らが続く。傾斜面には基石と思われる石があった。石は数個で表層に使用されたものが堀に落ちたものと思われる。およその下幅約4.4m計り、立ち上がっている。上幅の肩部分は下幅から約3m東にある。現地表面から東に直線で約9.4m位置になる。深さは地表面から1.1~1.2mで、堀の断面形状はローンを掘り込んだ舟形である。出土した円筒埴輪は黒色の泥炭土層内でその上に浅間B軽石層純層が覆った状態にあった。埴輪片はトレンチ内西寄りと東寄りにまよって出土した。4層5層にも埴輪片が散らばって出土している。肩部分を東に掘削を延長すると肩部から約7mまでローンが続く、ローンを掘り込んだ長さ約6mの覆土が現れ、またローン面が続いていく。この覆土面でも埴輪片が出土している。これが古墳に関わる外堀なのか、別の溝になるのか次回の調査が待たれる。この覆土は一切手をつけていない。＜円筒埴輪＞トレンチのNo.8の位置出土の埴輪片を接合したら図5、写真1の如くに成った。三段凸帯で、高さは58.1cm、底径21.8cm、口径28.7cm、凸帯断面は台形で中心が浅く凹んでいる。胎土はよい黄褐色。外面の二次調整は横刷毛。いわゆるB種である。刷毛幅は1.7cmで8本と11~12本、2.1cm幅に17本である。基部粘土は底から見て右回り、一段の基部外面は左上方斜めの刷毛で二段から四段全てに刷毛調整されている。三段、四段面には朱を施した痕が薄く見られる。透孔は2段と3段にあり90~100度開く。2段3段に相対する透孔は埴輪片が無く分らない。復元された見える部分においては無黒斑である。



写真4 トレンチ遺物出土状況 北から



写真5 埴輪窯遺物出土状況

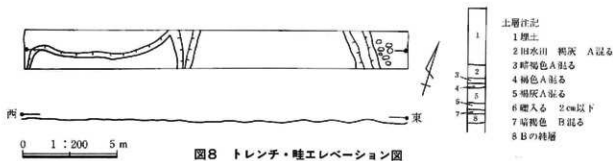
6. 上並根町稲荷前

- (1) 所在地 上並根町字稲荷前283他
- (2) 調査期間 平成10年4月28日
- (3) 対象面積 1596.0㎡
- (4) 開発内容 貸店舗増築
- (5) 経過と結果

当該調査地は前崎・高崎バイパス線を交差する地方道路、高崎・榛名線北側に接する所に位置する。前崎・高崎バイパス線の交差点より西へ約350mにある。

調査地の現状はバラス敷きの露天駐車場である。現在の店舗増築と駐車場増設が申請内容である。北西約350mに船形石積をもつ前方後円墳の上並根稲荷山古墳がある。平成7年の発掘調査において弥生時代の土坑と土器、円筒埴輪、朝顔形、形象埴輪が出土している。

やはり平成7年に北東約350mの場所の試掘調査では浅間B軽石層下の水田跡を検出している。平成6年に東南約100mの試掘調査では浅間A、B軽石層下の水田跡を検出されている。<結果>当該試掘調査地のトレンチで現地表下約126cmに厚さ9～10cmの浅間B軽石層と、B軽石層下に南北方位に伸びる畦2条検出。上幅、下幅は各々22cm～46cm、22～54cmで高さは約4cmほどである。形状は台形で角がややとれている。水田面はトレンチ内の北が南より5.5cm高い平坦部分と、東畦より東側に差れた凹凸の形状した表面が現れている。後日立ち金いになった店舗増築にあたる場所では土の入れ替えが行われたと思われ、川砂と大礫が厚い層を成している。今日の店舗以前に工場があった場所でもある。



写6 トレンチ内畦 西から



写7 トレンチ内土層 南から

7. 下中居下之城境

- (1) 所在地 下中居町下之城境123-2他
- (2) 調査期間 平成10年5月7日
- (3) 対象面積 1322.0㎡
- (4) 開発内容 貸店舗新築
- (5) 経過と結果

試掘調査の対象地は高崎停車場寄り、国道17号線に接するところにあり、キリンビール朝高崎工場の西側に位置する。平成8年に今回試掘調査対象地の西隣で浅間B軽石層に覆われた畦と水田が検出されている。

平成5年に国道17号線の北斜向かいで浅間B下の水田を確認している。そのような地に店舗の新築の申請があった。掘削には重機と手作業を併用した。当該地の元の地形は現在の地表面よりかなり低いようである。写真にあるように建物基礎粉砕物が70～90cmの厚さで埋め土乃至、盛上されている。上層は浅間A軽石は混じりに純層部分はない。B軽石は純層で比較的良好な層をしている。B下の黒色粘質土層、褐色粘質土層よりは泥流土層になっている。<結果>浅間B軽石層下にトレンチ方位と同じ南北方位に溝を検出した。溝は北寄りで東側に曲がっている。溝の幅は30～40cm、深さ約4cmである。畦は検出されていないので溝の両側の平らな面を断定できないが、水田面が考えられる。過去、西隣の調査でのB下水田と同じ位置にあり、今回のトレンチ内のB下の土層も同じ環境にある。しかしトレンチ内に検出された溝は同じ状況のものであるのかは分からない。

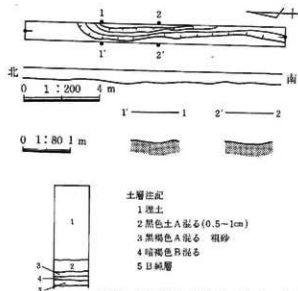
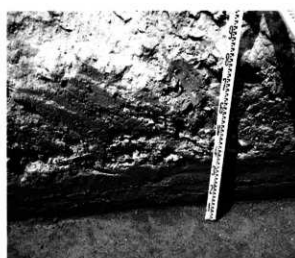


図9 位置図



写8 トレンチ 南から



写9 トレンチセクション 東から

21. 上小埜五反田、村前

- (1) 所在地 上小埜町字五反田25-1, 村前1230地
- (2) 調査期間 平成10年6月30日
- (3) 対象面積 5498.0㎡
- (4) 開発内容 露天中古車自動車展示場
- (5) 経過と結果

当該調査地は高崎市北部環状線南側に接し、箕輪・榛名線と交差するところから西に約450mの所にある。

今回の試掘調査地付近では、すぐ西隣りで浅間B軽石層下に水田を検出。北部環状線挟んだ北隣りで同じくB下水田を検出している。現況は水田の休耕地である。環状線挟んだ北側の水田との比高は70cm以上低い。

当該調査地の東と西に2本のトレンチを南北に入れた。＜結果＞浅間B純層7～9cmの下から畦跡を検出した。トレンチ内のB下レベルは東トレンチの南北は23cm低い。西トレンチの南北は南に1cm低い。ほぼ平らである。東と西のトレンチは約30m離れているが東西のトレンチの北側では約9cm、南側で14cm東トレンチが低い。よって東側に低いか、東南に低くなっていく地形が考えられる。畦は東トレンチで南側に一条、幅約50cm、高さ2.5～3.5cm。西トレンチでそれに対応すると考えられる同程度の畦がトレンチにはほぼ直角に検出。また西トレンチの南北方向の畦の上に交差する畦が検出された。



図12 西トレンチ平面図



写11 西トレンチ、B下水と交差する時（南から）

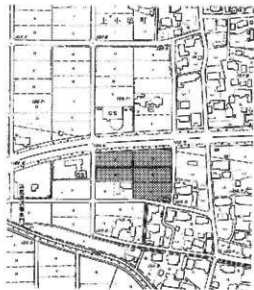


図11 位置図



写10 東トレンチ（南から）



写12 交差する畦、西トレンチ（西から）

23. 上佐野寺前

- (1) 所在地 上佐野町寺前513-2
- (2) 調査期間 平成10年7月6日～17日
- (3) 対象面積 152.67㎡
- (4) 開発内容 私道新設
- (5) 経過と結果

当該調査地は上毛古墳群に20号古墳として登記されている古墳である。高崎駅からおよそ南に約2.2km、烏川左岸の台地縁辺部にあり、南前方には上信電鉄線が走る。北側の背後は新幹線が走っている。此の新幹線の下は過去、下佐野遺跡として発掘調査された。方形周溝墓、縄文、古墳～平安までの住居跡、居館跡を検出している。今回、本調査地の隣接に分譲マンションの建設に依り従来使用してきた道路が利用できなくなり、新たに当該地の北側を削って駐車場に供する道路を新設するといわれている。対象地は現在、私有地として使っているが試掘調査においても最小限の掘削とトレンチ範囲の調査であった。墳丘の造りが確認が出来ればよいという程度のことである。急ぎでもあった。したがって、本書記載の平面図は現前装設道路の任意の場所を基準に作成したものである。正式な測量に基づいてはいない。道路建設上の安全地帯を確保する為、古墳のある程度の削平と縮小は仕方ないと思うが残念である。将来の機会に正しい姿が把握されることを期待したい。＜方法＞道路を作る側、北側の古墳の縁に近い所、およそ東西方位に直線で掘削した。墳丘上の立木はすでに伐採されている。トレンチは古墳に沿った方形で、長さ約18m、面積は17.72㎡である。トレンチを行う場所は古墳の傾斜部分と大小の凸凹あり、配電盤を背に大変狭く、重機も回転できない地形である。ローム土層まで重機で掘削し後はじょん等今回の調査確認面までを手作業を行った。掘削の上砂は古墳所有者の土に置かせてもらった。＜結果＞ロームを掘り込んだ周溝の一部分と、墳丘の基礎部分をセクション図の如く確認することが出来た。下層のローム層を挟んだ上層、黒色土層が本来の、昔の地面面であろう。現在の地面からすると20cm少し高い位置にある。トレンチで見る、この黒色土層の長さは13.55mある。黒色土層を覆う上層のローム混じりの土層は11.40mの長さである。此のローム混じりの土層が当該古墳の基礎になるものと考えられる。数点の土器が出土しているが此の古墳の築造期の年代の決めとなる遺物は出土していない。Na1は円筒地輪片、堀の覆土。Na2は縄文土器片、黒色土層内、何かの原因による侵入。Na3は墳丘斜面、19土層内出土、中世の内耳埴片。Na4は3点、内耳埴片と円筒地輪片。Na5は堀31の覆土内、中世の内耳埴片。Na6は5世紀前半の高坪部分、出土位置は見失われた。下佐野遺跡の報告書には方墳の可能性を示唆しているが今回の調査方法では埴形を考えられる段階まで全くいっていない。



図13 位置図

＜土層＞ 1. 凝石 2. 暗褐色土、粗砂質5mm以下の石多い。 3. 暗褐色土、A凝石多量に含む。 4. 暗褐色土、ローム、小石混じり。 5. 暗褐色土、凝石含むシルト。 6. 暗褐色土。 7. 褐色土、ロームと明黄褐色ローム多い。 8. 褐色土、中～大粒の礫入り。ロームよく混じる。 9. 褐色土、明るくローム混じり。 10. 褐色土、ローム多く、やや固い。 11. 暗褐色土、ローム多い。 12. 暗褐色土、ローム多い。 13. 黄褐色土、ローム多い。 14. 白っぽい黄褐色土、A凝石多い。 15. 褐色土、ローム多い。 16. 暗褐色土、ローム多く、やや固い。 17. 暗褐色土、中～大粒の礫入り、粗砂質。 18. 黄褐色土、中～大粒の礫入り。シルトあり。 19. 暗褐色土、ローム少し、よく混じる。 20. 褐色土、3cmの礫は多い。黒色土の流入。 21. 黒色土、粗砂質、0.5cm以下の礫入り。シルトあり。 22. 暗褐色土、シルト含む粗砂。1.4cmの大礫入り。 23. 暗褐色土、B凝石混じり。1cm以下の礫多い。 24. 暗褐色土、ローム混じり、粗砂質。 25. 暗褐色土、1.5cm以下の礫は多い。粗砂質。 26. 暗褐色土、1cm以下の礫含む、粗砂質。 27. 暗褐色土、粗砂質。 28. 暗褐色土、5cm以下の礫含む、粗砂質。 29. 暗褐色土、粗砂質。 30. 暗褐色土、2.5cm以下の礫含む。 31. 暗褐色土、黒色土の流入。粗砂質。 32. 明褐色土、明褐色ローム。 33. 褐色土、1cmの礫入り。

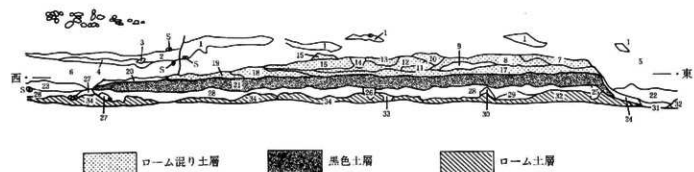


図14 セクション図

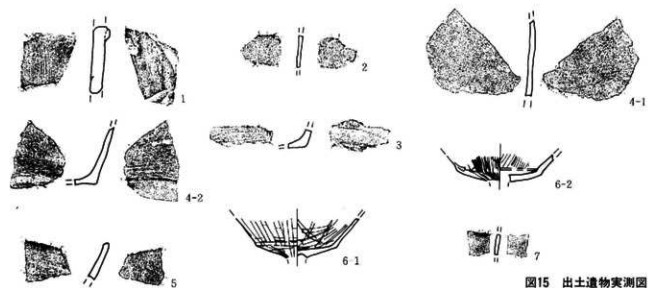


図15 出土遺物実測図

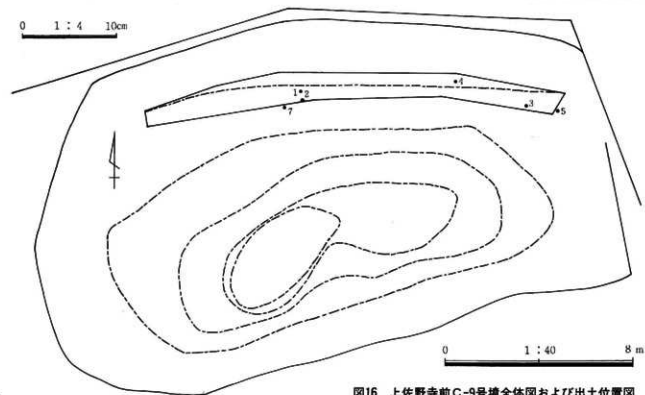


図16 上佐野寺前C-9号墳全体図および出土位置図



写13 調査前全景 北東から



写14 掘削作業状況 南西から



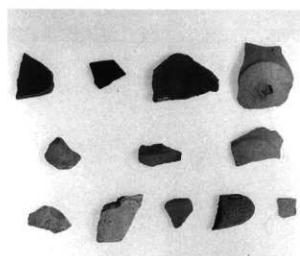
写15 木、雑草除去後 北東から



写16 トレンチセクション 北東から



写17 東側堀部分セクション 北から



写18 出土遺物

42. 中大類沖田

- (1) 所在地 中人類町字沖田35能
(2) 調査期間 平成10年10月22日
(3) 対象面積 10,946㎡
(4) 調査内容 学校校舎建築
(5) 経過と結果

当該調査地は国道354号を南北に横断する県道元島名・倉賀野線にある群馬女子短期大学より西に約450mにあって、現況は水田であり、現在刈り取り後の状態である。当該調査地の付近の遺跡は当地から北に約500mの所に高崎情報団地遺跡がある。弥生時代の方形周溝墓、住居跡、独立柱建物、土坑、古墳3基、埴輪、土器多量。奈良、平安時代の住居2軒、遺物多量。中世、近世館跡、遺物多量に出土している。現在、その隣接で二次発掘調査を継続中である。西約500mに南大類東沖遺跡、稲荷遺跡では方形周溝墓、古墳時代の竪穴住居、平安時代の水田跡が検出されている。当該地も以上の状況から遺構の埋蔵地の可能性が高い場所である。そのような所に調査申請の依頼があった。調査地は現在も耕作の継続中なのでトレンチは慎重に行った。＜結果＞浅間B層石層を取り除くので畦、溝を検出した。検出したトレンチは1、2、5、6は水田面。3、4は今回遺構確認できなかったが掘削面積を広げれば遺構につながると思われる。

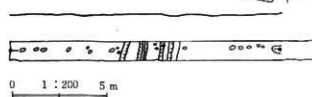


写真 15 トレンチ (南から)



図17 位置図

1	上層住居
2	1期褐色土 現跡作上。
3	2期褐色土 砂混入。
4	3期褐色土 砂化鉄分多い。
5	4期褐色土 粘質土。
6	畦、溝等の検出。
	5期褐色土 粘質土。
	褐色のシルト入る。
	6期褐色土、上下文層に分けられる。

図18 トレンチ・畦エベレーション図



図19 トレンチ位置図

44. 剣崎鳴熊

- (1) 所在地 剣崎町字鳴熊272-5他
(2) 調査期間 平成10年11月10日
(3) 対象面積 2,998.0㎡
(4) 調査内容 土地分譲
(5) 経過と結果

当該調査所在地は剣崎町に所在する八幡神社から東北約300m登った所にあり、東西に長い丘陵状地上の東側舌端に近い東南寄り南面急傾斜地に立地する。付近の遺跡調査は約500m北の高台地上に剣崎稲荷坂遺跡がある。縄文、平安時代の竪穴住居跡が検出され、それに伴う土器、埴輪、土器、土器等が出土している。貴重なものに平安時代の小銅像、分銅形石製品がある。

調査地の現況は斜面を削った植栽に立つ鉄筋造りの民間の住宅に供している舗装道路部分である。調査は重機で舗装面を剥がして掘削後、手作業でおこなった。＜結果＞当該調査地の東トレンチ内にB混じり土層の下層で溝を検出した。幅1.50-1.85m、深さ0.3-0.4mである。覆土の中に縄文中～後期の土器片、石斧が出土した。溝から東側には比較的良好なロームである。溝は覆土の状態で自然形成が考えられるがよく分からない。遺物は背後の高台からの流れ込みが考えられる。トレンチ外に遺構の可能性はあったが建物建設時に破壊されたと思われる。

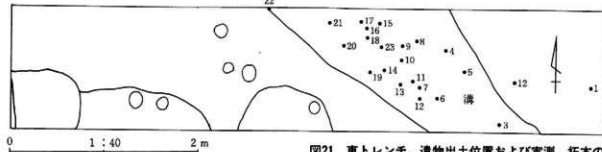
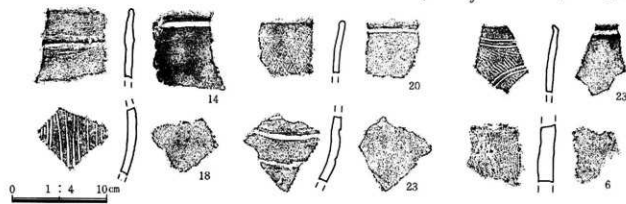


図21 東トレンチ、遺物出土位置および実測、拓本の一部



図20 位置図

45. 南大類柳原

- (1) 所在地 南大類町字柳原沖996-2他
- (2) 調査期間 平成10年11月11日
- (3) 対象面積 1,505.83㎡
- (4) 開発内容 配電用変電所新設
- (5) 経過と結果

本調査対象地は高崎駅の東方にある中居小学校から北に約900mの場所に位置する。東南方位に長く形成された微高地状の間の水田地帯にある。付近まで住宅や建物が進出してきているが、まだ見通しがよい場所である。此の水田地帯に北西～南東に送電線が走っているが、それに関わる変電所新設に伴う埋蔵文化財の確認調査の依頼を要請された。過去、当該調査地の東約250m、南約500mに平安時代の水田跡が確認されているので当地に於いても可能性が高いと考えられた。重機と人手による作業を行った。＜結果＞4本のトレンチいずれからも浅間B下から黒～黒褐色の粘質土の水田跡を確認した。水田面とされる面での足跡、動物の足跡が検出された。他に西トレンチ内でB下の同じ水田面に釘ないし馬具の一部と考えられる酸化した鉄製品が出土した。

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | 表層付土 |
| 2 | 浅間B粘質土 |
| 3 | 黒～黒褐色土、粘質土 |
| 4 | 黒褐色土、粘質土、C層に入る。シルト含む、粘質土 |
| 5 | 白～灰褐色土 |
| 6 | 6～10cmの石が入る。泥炭地粘土 |
| 7 | 褐色土、粘質土 |
| 8 | 灰白色土、水成堆積層 |

図23 トレンチ基本土層図



写真21 西トレンチB水田面の鉄製品（西から）



図22 位置図



写真20 東トレンチ（南から）



写真22 足跡（西から）

46. 元島名中子

- (1) 所在地 元島名町字中子1,217-1他
- (2) 調査期間 平成10年11月17日
- (3) 対象面積 17,289.64㎡
- (4) 開発内容 配送センター建設
- (5) 経過と結果

当該調査地は高速関越道、高崎インターチェンジ南側にある。東南流する利根川は東に、やはり東南に流れる井野川は西にあって、この二つの川に挟まれた後背湿地的な地形と台地上にある。特に井野川沿いは高崎市市内においても遺跡が軽く後背地帯でもある。およそ350m南ないし南南西に元島名遺跡、鈴ノ宮遺跡がある。

元島名遺跡では方形周溝墓、住居跡、鈴ノ宮遺跡では弥生時代から平安時代まで住居跡、墳墓等かなりの数の遺構と遺物を出土している。約100m西ではB下水田を発掘している。当該地は以上のような遺跡との関連が深いと考えられる場所である。今回の調査地は前回試掘調査の北側地続きの土地でもある。前回調査のトレンチ土層は泥炭、水成堆積土層の上は泥炭層で遺構につながる土層は認められなかった水田地である。＜結果＞調査地の北側においてB下に北～南に向かう畦6条と水田を検出した。また水田より古い遺構は確認されなかった。

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 表層付土、泥炭付土 |
| 2 | 暗褐色土、粘質の泥炭層、A層石乱れる。約6cmの厚さ |
| 3 | 暗褐色土、泥炭層や砂層等混じる。約7cmの厚さ |
| 4 | 暗褐色土、泥炭層混じる。3層より厚い。約4cm厚 |
| 5 | 暗褐色土、泥炭層混じる。2～8cmの厚さ |
| 6 | 暗褐色土、粘質土、水田土層 |

図25 トレンチ基本土層図



写真24 2トレンチ 東陸（南から）



図24 位置図



写真23 調査地掘削中（北西から）

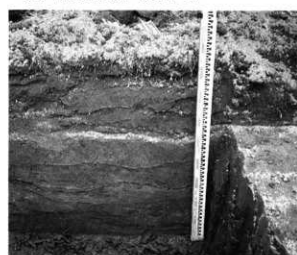


写真25 1トレンチ（南から）

18. 矢中村西

- (1) 所在地 矢中町西17他
- (2) 調査期間 平成10年6月25日
- (3) 対象面積 1,519㎡
- (4) 開発内容 共同住宅建設
- (5) 経過と結果

現況は水田を耕作中であるが今年は住宅建設の予定のために休耕作。周辺において浅間B下の水田遺跡を発掘している。矢中村西遺跡、倉賀野条里遺跡等である。

現水田地表より約50cm下、Bの純層より水田面の黒色粘質土を確認する。水田は東南に低い。



写真26 1トレンチ、2トレンチ（西から）

30. 下滝大門

- (1) 所在地 下滝町大門40-37他
- (2) 調査期間 平成10年9月1日
- (3) 対象面積 676㎡
- (4) 開発内容 道路築造
- (5) 経過と結果

民間の代替え用地に供する道路築造のため緊急に要請を受けた試掘調査である。現況は畑である。高崎市道跡分布地図では縄文、古墳～近世までの遺跡包蔵地域である。地表下50～60cmにローの中に覆土、溝か。他に混土下層より弥生土器片、土師器片が出土した。道路予定幅範囲が狭いので確認範囲を広げられないこと、道路基礎のギリギリ許容範囲として試掘調査を終了した。



写真27 トレンチ出土遺物

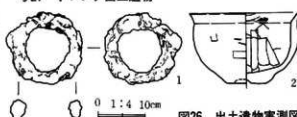


図26 出土遺物実測図

37. 剣崎大塚南

- (1) 所在地 剣崎町大字大塚南561-1
- (2) 調査期間 平成10年9月21日
- (3) 対象面積 455.97㎡
- (4) 開発内容 宅地開発
- (5) 経過と結果

当該調査地は高崎市西部小学校の東南約230mの丘陵南面傾斜地上にある古墳である。大島原古墳群の一つと考えられるものである。宅地開発の希望があり、以上のものが古墳であるかどうか知りたいたいで試掘調査の依頼があった。古墳のタイプまでは知り得なかったが、手堀作業で古墳の墓石を確認することが出来た。



写真28 トレンチ墓石 南西から

35. 桑附五百山

- (1) 所在地 桑附町字五百山1424-1
- (2) 調査期間 平成10年9月29日
- (3) 対象面積 980㎡
- (4) 開発内容 道路拡幅
- (5) 経過と結果

本調査地は高崎駅より西に3km少し行った碓氷川右岸、丘陵の北側傾斜地に位置する。此の丘陵では縄文、古墳、奈良から中世時代までの豊富な遺跡が発掘されている。当該地の付近では、現在、削平されてしまった古墳がかなり有り、古墳群の地域とされている。本調査地もそれら関わり合いの考えられる土地でもある。公道工事で急ぎでもあった。〈結果〉トレンチ内南側と北側に20cm前後の礫の墓石があった。須恵器片もその中から出土した。他に平安時代の土師片が幾つ出土している。

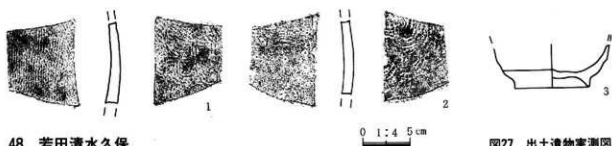


図27 出土遺物実測図

48. 若田清水久保

- (1) 所在地 若田町字清水久保73-1
- (2) 調査期間 平成10年11月26日
- (3) 対象面積 330㎡
- (4) 開発内容 一般住宅
- (5) 経過と結果

当該調査地は高崎市若田霊園中心部から直線以南約330mの丘陵台地の北側傾斜地にあり、近年、住宅が増えつつある地域である。現況は畑で資材置き場にもなっている。若田霊園の若田原遺跡は竪穴式住居、敷石住居あり、古墳群としても知られている。霊園の南隣地では若田屋敷裏1・II遺跡では弥生を除いて縄文から中世までの遺構、遺物を出土している。当該地は個人住宅の建築ではあるが地域の重要性から申請に基づいて試掘調査を行った。〈結果〉B純層より下層の黒色土より焼けた電の釉石と考えられる石と一緒に須恵器の壺片と土師器片が出土した。土師器は器形の形状から9～10世紀頃と考えられる。その他に上層で須恵器の蓋の部分が出土している。須恵器壺片はトレンチの縁からであり、掘堀で出したものである。これ以上進めることは出来なかった。住宅建築の基礎には全く影響のないものである。



写真29 トレンチ内墓石 南から

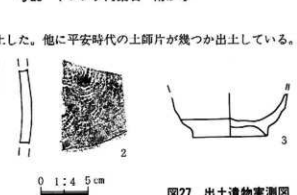


図28 大塚実測図

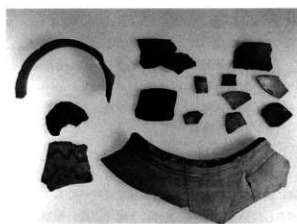
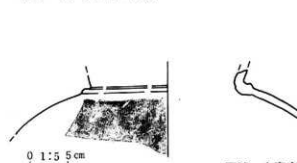


写真30 トレンチ出土遺物

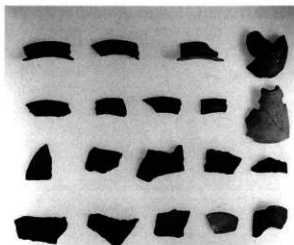


抄 録

54. 江木観音沖

- (1) 所在地 江木町字観音沖616-1他
 (2) 調査期間 平成11年12月8日
 (3) 対象面積 2,240.37㎡
 (4) 開発内容 国家公務員宿舍建設
 (5) 経過と結果

当該調査地は高崎駅東口の南を走る地方道路、前橋・高崎線と交差する地方道路、高崎・駒形線の南側に接する所であり、市総合文化会館の東、約900mに位置する。東方向に低い微地形上に本調査地はある。東南隣接地の試掘調査ではB下より古墳時代の土器が出土している。約100m西では住居跡、古墳時代から中世までの遺物出土の報告がある。今回のトレンチ調査ではC混じり土層の下層より弥生後期～古墳前期の土器が出土した。



写31 トレンチ出土土器

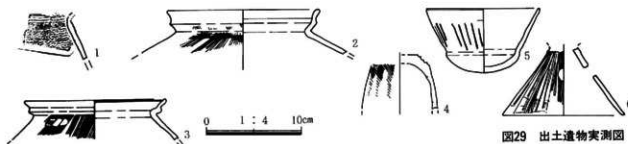


図29 出土遺物実測図

H9-61中尾

- (1) 所在地 中尾町168他
 (2) 調査期間 平成9年2月10日
 (3) 対象面積 1,549.74㎡
 (4) 開発内容 共同住宅建設
 (5) 経過と結果

本調査地は国道17号にある前橋インターチェンジの南側に約150mの所にある。東隣接地に於いてB下水田が確認されている。さらに東側の土地では広い範囲にB下の黒色粘質土が切除された形跡があった。B軽石層も本来はあったと考えられる。また南に約900mの所に日高遺跡があり、東に鳥羽遺跡があり、本調査地は弥生から中世まで遺構、遺物の豊富な場所である。今回、遺構は確認できなかったがB混じり土層中に布瓦、浮き出し文字のある叩き目の須恵器片(図2)を出土した。

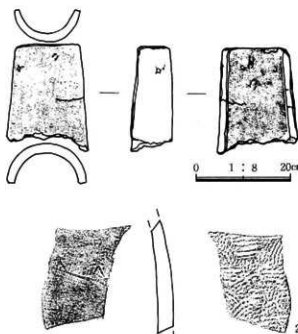


図30 出土遺物実測図および拓本

ふりがな	たかきしないのせきまいどうふんかざいんあいのうつくちしきほうこくしよ
書名	高崎市内遺跡埋蔵文化財緊急発掘調査報告書13
副書名	
巻次	
シリーズ名	高崎市文化財調査報告
シリーズ番	第160集
編著者名	神戸 肇
編集機関	高崎市教育委員会
所在地	〒370-0829 群馬県高崎市高松町35-1
発行年月日	1999年3月31日

高崎市文化財調査報告書第160集
 高崎市内遺跡埋蔵文化財
 緊急発掘調査報告書13

平成11年3月31日印刷

平成11年3月31日発行

編集者 高崎市教育委員会
 文化財保護課埋蔵文化財係
 発行者 高崎市教育委員会
 印刷所 株式会社 精真社

